

平成30年度 第1回飯田市行財政改革推進委員会 議事録

日時：平成30年7月23日（月）13：30～15：20

場所：市役所 A棟301～A302会議室

出席者：佐々木会長、林委員、小林委員、伊藤委員、長谷部委員、北原委員、森下委員、中島委員、原委員、西塚委員、上河内委員

佐藤行財政改革推進本部本部長、寺澤総務部長、塚平財政課長、土屋人事課長、串原企画課長

欠席者：佐々木（志）委員、下平委員、中山委員

---

任命書交付 長谷部委員 授与者：佐藤行財政改革推進本部本部長

1 開会（寺澤総務部長）

2 あいさつ  
（佐々木会長）

行財政改革は永遠のテーマである。今までの行財政改革推進委員会では「市役所の市民サービスとは何か」という観点で議論してきた。地域でできることは地域で行うことにより市役所の市民サービスの形も当然変化してくる。

このような観点から、経験豊かな委員のみなさんから活発な意見をいただきより良い飯田市役所そして飯田市を目指して進めていきたいので宜しくお願いしたい。

（佐藤行財政改革推進本部本部長）

委員それぞれの立場でご尽力いただいていることを感謝申し上げたい。冒頭、西日本を中心とした豪雨災害においては200名を超える方がお亡くなり、なお行方不明の方もいることや、避難生活を余儀なくされている方へお悔みとお見舞いを申し上げたい。

当市としては、物資の支援や長野県のチームの一員として職員を派遣する予定であり、できる限りの支援をしていくことを考えている。また、市内の状況であるが7月5日から6日にかけて豪雨のピークがあり累積雨量で200mmを超える雨量を観測したことや遠山地域においては300mmを超える状況で、いつ災害が起きてもおかしくない状況であった。幸いにも5日の夕方にインターバルがあり雨の降らない時間があつたことや最後の一雨が降らなかったことで持ちこたえることができた。今後も防災の対応についてはしっかりと取り組んでいきたい。

さて、当市の行財政改革についてはこれまで実施してきた量的削減（主に職員数を減らす、予算を小さくする）を重点に取組を進めてきたが、現在取り組んでいる行革大綱ではこれまでの取組を継続しながらも、人口減少という課題に対して市民の総合力という形で当市の状況を維持していくこととしています。そのためにはどのようにしていくことが良いか、みなさんと共に考えていきたい。

本日の協議事項であるが、飯田市における指定管理者制度の状況を説明と平成30年度に協定期間が終了する施設の今後の方針等を説明させていただき、それについてみなさんから意見をいただきたいと思うので宜しくお願いをしたい。

3 協議事項（議事進行：佐々木会長）

（1）指定管理者制度の概要及び導入施設一覧

（2）飯田市行財政改革大綱の概要 （1）、（2）一括説明（説明者：塚平財政課長）

○質疑等なし

（3）平成30年度指定管理協定期間終了施設の実績評価に対する意見聴取について

[No.1：飯田市虎岩交流センター]（説明者：桑原ムトスまちづくり推進課長）

（小林委員）

飯田市虎岩交流センターは人件費の計上がないが、地域で管理しているため人件費がかかっているということか。

（桑原ムトスまちづくり推進課長）

→地区で管理をしているため人件費はかかっている。

[No.2：飯田市障害者生活ケアセンター、No.3：飯田市福祉会館、No.4：飯田市南信濃福祉研修センター、No.5：飯田市南信濃障害者等活動支援センター]（説明者：小林福祉課長）

○質疑等なし

[No.6：飯田市かなえデイサービスセンター、No.7：飯田市上郷デイサービスセンターNo.8：いいだデイサービスセンター、No.9：北部デイサービスセンター、No.10：飯田市竜東デイサービスセンター、No.11：飯田市かわじデイサービスセンター、No.12：飯田市西部デイサービスセンター、No.13：飯田市中部デイサービスセンター、No.14：南信濃デイサービスセンター、No.15：飯田市南信濃高齢者共同住宅]（説明者：原長寿支援課長）

（伊藤委員）

No.14：南信濃デイサービスセンターの決算状況（支出）であるが、利用者数が年々減少傾向にある中、消耗品費や修繕料が増加している理由はなにか。利用者数の減少に比例して支出も減少することが普通ではないか。

（原長寿支援課長）

→消耗品費の中には一般の消耗品の他に少額の器具等も含まれていることから昨年度比べ増加している。

（伊藤委員）

消耗品費の中にはおむつも含まれているか。

（原長寿支援課長）

→含まれている。

（伊藤委員）

利用者数に合わせて規模を縮小する考えはあるのか。

（原長寿支援課長）

→現在18人の定員であり最低限の定員規模と考えているため縮小する考えはない。

（佐々木会長）

①2（6）その他（今後の課題など）の内容が大半の施設で「施設の経年劣化による高額な修繕等が必要となる」ことが課題とされているが全施設を維持することが可能であるか。②介護職員の待遇改善、人材確保も課題とされているが状況はどうなっているか。

（原長寿支援課長）

①について、施設の老朽化により修繕料は増加傾向であるが、デイサービスセンターについては今後一定の利用者が見込まれるため当面維持していく考えである。

②については、全体的には介護職員の確保は難しい状況（特に宿泊を備える施設（夜勤がある施設））であるが施設によっては待遇改善が実施され、職員に対してやりがいを持たせ人材確保に努力している施設が多い。

(小林委員)

第2 飯田荘を建設する際に全体的に利用者数が減少傾向にあると聞いたが利用者数の動向をどうみているか。

(原長寿支援課長)

→介護保険事業計画（3年毎計画策定）では通所介護（デイサービスセンター）は今後3年間はほぼ横ばいで推移している。

(原委員)

デイサービスセンターの指定期間は5年間で設定されているが収支が赤字の施設については3年間程度の指定期間として経営状況を確認していく必要があるのではないか。

(原長寿支援課長)

→施設毎指定期間は異なるがデイサービスセンターについては基本的5年間の設定されている。指摘のように赤字施設については短期間の設定とし経営状況等を確認していく必要があるため今後検討していきたい。

(佐藤行財政改革推進本部本部長)

→指定管理の期間設定の考え方であるが、受託側からすると職員の採用等を考慮した場合ある程度期間がないと雇用の見込みがたてづらいことも考えられる。状況によっては期間を変更することもできるが、特にデイサービスセンターについて介護職員の確保が困難であるため長期間の設定としている。

[No.16：飯田市休日夜間急患診療所、No.17：飯田市健康増進施設]（説明者：原保健課長）

○質疑等なし

[No.18：飯田市21世紀環境共生型モデル住宅]（説明者：竹内環境モデル都市推進課副参事）

○質疑等なし

[No.19：飯田市北田遺跡公園]（馬場文化財担当課長）

○質疑等なし

[No.20：飯田市地域人形劇センター飯田市川本喜八郎人形美術館]（説明者：宮沢文化会館館長）

(林委員)

決算状況を確認するなかで収入として指定管理委託料を受け、支出で一定の委託料が支払われている施設（休日夜間急患診療所、飯田市福社会館）が見受けられるが委託料の支払先は把握しているか。

(宮沢文化会館長)

→清掃業務、フロアのメンテナンス業務を委託している。

(塚平財政課長)

他の施設においても決算報告の中で委託の内容も明記されているため把握している。

(林委員)

委託料の内容が実態としてわからないため恒常的に再委託している施設については決算状況の中に明記していただきたい。

(塚平財政課長)

→反映できるように記載方法について検討したい。

(林委員)

各施設において経年劣化、老朽化といった課題とされているが、少額の修繕料であれば指定管理者が負担するが大規模な修繕の場合は市として新たな投資コストとなるがどのように考えているか。

(塚平財政課長)

→大規模修繕については市が負担することとなる。

(林委員)

新たな行政コストが発生する場合はそのタイミングで検討する必要があるため、是非、検討するには行財政改革推進委員会でも議論させていただきたい。

(佐藤行財政改革推進本部本部長)

→指摘いただいた提案の取組が公共施設マネジメントであり、公共施設等総合管理計画の中でも明記しているが、すべての施設を維持・更新すると現在の投資額の何倍もの費用が必要となるため、そのような状況になる前に施設の廃止等を含めた検討している。現在その中でも優先検討施設を選定し検討しているが、例として本日協議していただいた「飯田市北田遺跡」もその一つであり、例えばある程度修繕して地区へ移管することを含め検討を進めている。それぞれの施設（優先検討施設）については課題があり検討した方針について行財政改革推進委員会に図っていくこととなる。

[No.21：座光寺つどいの広場]（説明者：高山子育て支援課長）

○質疑等なし

#### 4 意見交換

(長谷部委員)

北田遺跡について地域に付度した内容になっている。利用が期待できるような記載があるが他の施設についてもこのような状況であるのか。

(塚平財政課長)

→現在、飯田市北田遺跡の活用方法を地元と協議している段階であり、他の施設とは状況が違うことをご理解していただきたい。なお、指定期間である3年の間に結論を出していく予定である。その他の施設については指定管理をしている施設であるため市が責任を持って管理していくことや指定管理者はその施設を有効活用していただくようお願いしている。

(上河内委員)

高齢化が進む中で介護する人材を確保することは重要なことであると感じた。また、温暖化が進んでおり、異常気象が発生している。CO<sub>2</sub>の削減といった環境にやさしい取組などエコハウスでPRすることは良いが、異常気象のような危機的な状況も伝えながら温暖化への緩和策だけでなく適応策の促進を図ってほしい。

(西塚委員)

飯田市虎岩交流センターや飯田市箱川郷づくり研修センターは地域の集会所や公民館との違いは何か。

(塚平財政課長)

→地区の公民館は地区全体で利用していただく施設であり、飯田市虎岩交流センターは主に虎岩区で利用していただいている施設である。現在の集会施設は地域で建設し、市は補助金を支出してその支援をしているが、飯田市虎岩交流センターやコミュニティ施設（17

施設)については市が建設費を負担して建設した集会施設であるため公の施設として市が指定管理をしている。

(森下委員)

多世代交流プラザの指定管理を下黒田南自治会が行っている。現在上郷公民館を建て替えているため、上郷公民館で行っていた行事や会議等が当該施設を利用して行われている。使用することは全く問題ないが、使用後に電気や換気扇の消し忘れが多いため管理に支障が生じているので、公民館や自治振興センターから貸し出す場合は管理を徹底していただきたい。

(中島委員)

飯田中部サービスセンターの「アンケートなどによる利用者の声・評価」の中にレクは楽しんで参加できていないという声が6%ある。理由がわかれば教えてほしい。

(塚平財政課課長)

→担当課(指定管理者)へ確認し後日回答させていただく。

## 5 その他

○今年度の行財政改革推進委員会の開催予定について

○委員報酬及び旅費について

(佐藤行財政改革推進本部本部長)

本日は長時間にわたり審議していただきありがとうございました。また、指定管理実績評価については丁寧に議論していただき感謝している。これから行財政改革大綱や公共施設マネジメントをしっかりと取り組んでいくが、事務局では気づかない点もあるためみなさんの意見やご指摘をいただきたい。

本日はありがとうございました。

## 6 閉会